

診断しが



「滋賀県立陶芸の森」(大石孝太郎撮影)

令和4年 夏 号

一般社団法人 滋賀県中小企業診断士協会

目 次

会長挨拶	1
特集記事	2
令和4年度定時総会	2
令和4年度各種表彰者	4
令和4年度理論政策更新研修	6
診断実務従事に参加して	8
「ウェルネスツーリズム」体験ツアー開催	11
委員会報告	12
研究部会報告	14
活躍する診断士の横顔	18
新入会員紹介	20
中小企業支援機関、各種団体、企業、行政の皆様へ	..	22
無料経営相談	22
事務局から会員の皆様へ	22



会長挨拶

滋賀県中小企業診断士協会 会長 田畑 一佳



中小企業支援機関や行政並びに金融機関の皆さまには、日頃から当協会の運営にご理解ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、相変わらず新型コロナウイルスに翻弄されている状況ではありますが、海外との交流も徐々に復活しつつあり、少し明るい兆しが見えてきました。

しかし、その一方で、ロシアのウクライナ侵攻によって、世界の食料の流通が停滞し急激な物価高等、景況感は相変わらず停滞気味となっております。

そのような状況のなか、中小企業の経営も非常に厳しい状況におかれているのは間違いありません。中小企業診断士には、国の施策の効果的な活用や資金繰り対策、さらに未来に繋がる事業計画策定など、様々な場面での活躍が期待されています。

こうした中で当協会は、引き続き、認定支援機関として金融機関や各種経済団体及び地方公共団体と連携して経営改善計画策定支援事業等に積極的に参画する等、地域の中小企業・小規模事業者への支援及び地域課題に取り組みことで地域経済の活性化に貢献していきたいと考えています。

また、上記の期待に応えるためにも中小企業診断士としてのブランドを強化するために、各種研究会を通じて知識やスキルの向上に努め、コンサルティングの品質の向上に努めていく所存です。また、これら果たすべき専門性をより具体的に中小企業・小規模企業、行政機関、金融機関、中小企業支援機関等に情報発信していきたいと考えております。

今年度も前年度同様に五つのC（①コア・コンピタンス、②コーポレート・ガバナンス、③チャレンジ精神、④カスタマーファースト、⑤CSR）を重視して、強いラグビーチームのように、会員相互が切磋琢磨してワンチームで仕事ができるよりよい組織づくりに努め、事業を遂行していく所存です。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

2022年7月7日



令和4年度定時総会開催

副会長 大石孝太郎

今年度の定時総会は、新型コロナ感染が減少していた時期となり、感染対策を強化した上で通常開催させていただきました。

田畑会長の挨拶に続き、ご来賓あいさつとして、滋賀県商工観光労働部 中小企業支援課 課長 原田智弘様にご挨拶をいただきました。続いて、令和4年度各種表彰を行いました。

定款の規程に基づき、有効会員数の確認が行われ、議長に田畑会長が選任されて、議事が行われました。



1 開催日時 令和4年5月 21 日(土曜日)15時00分 ~16時00分

2 開催場所 コラボしが21 3階中会議室

3 出席者

- | | |
|---------------|------|
| (1)出席会員数 | 30名 |
| (2)委任状提出者数 | 46名 |
| (3)議決権行使書提出者数 | 20名 |
| (4)総会員数 | 126名 |

【第1号議案「令和3年度事業報告 報告の件」】

【第2号議案「令和3年度収支決算 承認の件」】

【第3号議案「令和4年度事業計画 報告の件」】

【第4号議案「令和4年度収支予算 報告の件」】

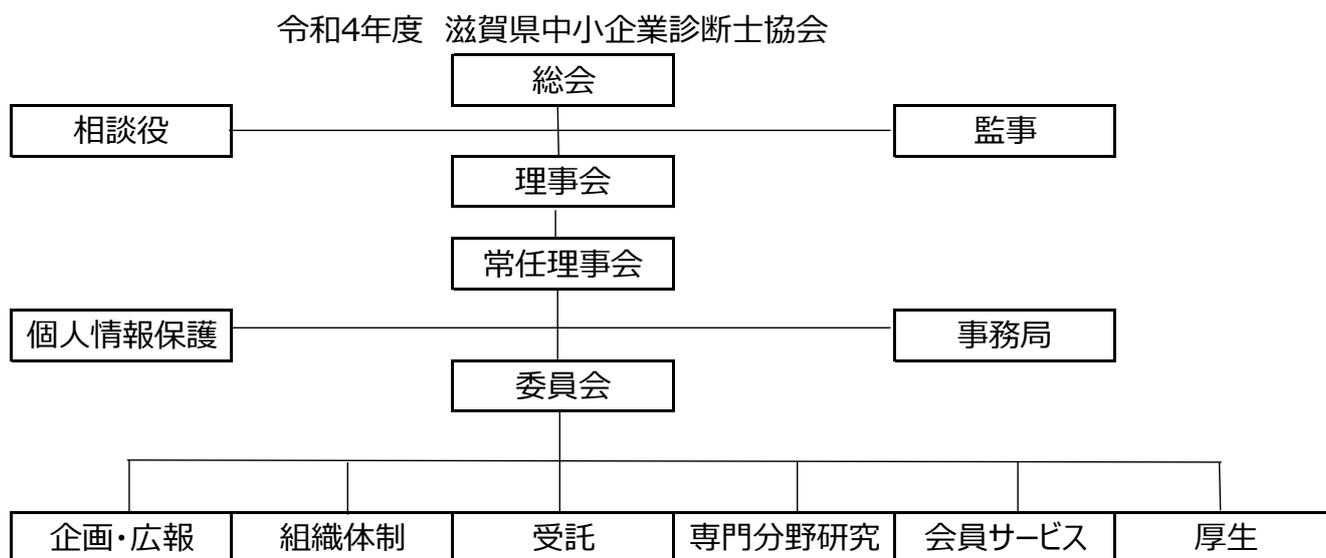
【第5号議案「役員改選について 決議の件」】

以上、全ての議案が承認、可決されました。

定時総会の終了後、1年以内に入会された会員の自己紹介と、研究部会のオリエンテーションが行われ、大津市内の会場にて、会員親睦会(会費制)が盛会裏に開催されました。

令和4年度 役員および組織体制について

令和4年度役員体制および組織体制は以下の通りです。



●役員

会長	田畑一佳				
副会長	大石孝太郎	西村剛史			
専務理事	鐘井 輝				
常務理事	山本邦博	岩崎弘之			
理事	田中清行	佐々木武	松島明男	西谷弘士	河原進吾
	山口智之	磯野研	山元岳司	奥田謙一	
監事	下村裕彦	山本善通			
相談役	大岡敏孝	廣田光政			

●常任理事会

常任理事会	田畑一佳	大石孝太郎	西村剛史	鐘井 輝
	山本邦博	岩崎弘之	下村裕彦	山本善通

●委員会

委員会	委員長	委員				
企画・広報	大石孝太郎	栗田一人	三宅裕之	松永尚文	河原進吾	
組織体制	西村剛史					
受託事業	大石孝太郎	田畑一佳	西村剛史	鐘井 輝	山本邦博	岩崎弘之
会員サービス (実務実習)	西村剛史	鐘井輝	河原進吾			
厚生	鐘井輝	岩崎弘之	西村剛史	稲田忠夫	河原進吾	下村裕彦
		森部修	島淵裕一	仲西貞之	山本邦博	古澤 智

令和4年度各種表彰者

副会長 大石孝太郎

定時総会に先立ち、令和4年度の次の表彰が行われました。

○滋賀県知事表彰

大石孝太郎会員

○中小企業振興功労章

下村裕彦会員、西村剛史会員、山本邦博会員

○20年永年会員功労賞

菊次正純会員

長年、滋賀県を中心として、中小企業支援の第一線で活躍され、各支援機関等との連携の強化、滋賀県中小企業診断士協会の発展に貢献された皆様が、この度、表彰を受けられたこと、心よりお慶び申し上げます。これからも引き続き、ご健康で、中小企業者の発展や地域の課題解決のためにご活躍されますことをお祈り申し上げます。



大石孝太郎会員



下村裕彦会員



西村剛史会員



山本邦博会員

中小企業振興功労賞を受賞して

下村 裕彦

令和4年度定時総会の席上において、中小企業振興功労賞という大変光栄な賞をいただき誠にありがとうございました。私は金融機関に勤務しながらの企業内診断士で、賞状に書かれているような「協会の発展と中小企業診断制度の普及に多大の貢献をされた」と言われると、誠に汗顔の至りです。

振り返りますれば、平成16年10月に診断士として登録、直ちに滋賀県協会に入会させていただき、約18年経とうとしています。入会当時は60名弱の会員数で、ベテランの先輩方がほとんどでしたが、経験のない私に大変優しく丁寧にご指導いただきました。近年は数多くの診断士が入会していただき、会員数も2倍の120名を超える規模に発展、若いプロコンの先生方も多くなり、より活気が出てきたように感じます。

私は現在、金融機関を定年退職し、建設会社の経理部門に従事しておりますが、今後も中小企業診断士として、湖北地域や中小企業の発展に少しでもお役に立てていければと考えております。滋賀県協会には様々な経験や他の士業資格を持たれた方も多くおられることから、先生方のご意見やご指導を仰ぎ、適時適切な助言がしていけるよう、今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

中小企業振興功労賞を受賞して

西村 剛史

私が滋賀県協会に入会したのは、2012年5月。入会時に当時の会長であった大谷先生から「入会ありがとうございます」とわざわざお電話いただいたことをよく覚えております。その後、後任会長を務められた廣田先生をはじめ、滋賀県協会の会員のみなさまや事務局の小山さんにはいつも大変お世話になっております。

私が滋賀県協会に入会して一番よかったと思うことは一流のビジネスマンである優秀な企業内診断士と交流できることです。私は社労士でもありますが、社労士会ではまずお会いできないような方々です。この企業内診断士との交流は私にとっては診断士としての見識を高めるのに大いに役立っていますし、なかなかできない貴重な経験もさせていただきました。中にはその企業内診断士の方々と一緒にクライアントの課題解決をする機会にも恵まれていますが、これは独立診断士として業務をするのにあたり、とても嬉しく感じることです。

そんな私も今年度から副会長を拝命しました。今までの御恩を少しでもお返しできるように、協会の発展に微力を尽くせればと考えています。

令和4年度理論政策更新研修

第2講担当 加瀬 秀樹

滋賀県中小企業診断士協会が主催する理論政策更新研修は昨年8月と1月に開催いたしました。今年度は7月30日の1回で実施し、107名の参加をいただきました。

第7波のコロナ感染症拡大を鑑みて、受講者にはマスクの着用や検温など感染対策の徹底をお願いし、かつ換気には配慮をいたしました。また、演習におけるグループワーク(ディスカッション)については実施しませんでした。



研修日程 (令和4年7月30日(土)12:40~17:00 コラボしが 21 3階大会議室にて)

時間(時間数)	科目名	講師 職・氏名
①12:40~ 13:40 (1)	新しい中小企業政策について 滋賀県の中小企業・小規模事業者支援施策について	滋賀県商工観光労働部 中小企業支援課 課長 原田 智弘 氏
②13:50~15:20 (1.5)	中小企業の事業再構築支援	株式会社 ANEMOS 代表取締役・中小企業診断士 加瀬 秀樹 氏
③15:30~17:00 (1.5)	中小企業の事業再構築支援 (演習/事例)※個人ワーク	京都炭山朝倉木工 代表 朝倉 亨 氏

第1講では、『新しい中小企業政策』について、滋賀県商工観光労働部中小企業支援課の原田氏より下記内容の支援施策を発表いただきました。

1. 滋賀県中小企業活性化の推進に関する条例に基づく施策の推進
2. コロナ禍で影響を受けた中小企業の新事業を支援する補助金、活性化事業の推進
3. 事業承継、開業資金等のサポート、経営革新支援事業等の推進



第2講では、滋賀県中小企業診断士協会会員 加瀬より『中小企業の事業再構築支援』について以下内容を発表いたしました。



1. 事業再構築とは

- ・事業再構築には5つの類型がある
- ・環境変化対応には再構築(自己変革)が必要

2. 私の再構築支援事例

- ・訪問前の準備として業界情報把握、ヒアリングリスト作成
- ・訪問時は信頼関係構築、傾聴、強み把握を心掛ける
- ・計画書作成手順として設計図、収益計画を最初に作成
- ・事例企業計画書作成については「強み×機会」を重視
- ・強みを活かして再構築の実現可能性を高める

最後に、事業再構築支援とは事業主様の『夢の実現』をお手伝いすることであり、診断士としてはとてもやりがいのある仕事であるとお話しさせていただきました。

第3講では、京都炭山朝倉木工代表の朝倉 亨氏にお越しいただき、『事業再構築への取り組み』について京都中央信用金庫様とともに以下内容を発表いただきました。

1. 現状の企業概要

一品ものの家具製作を行い、こだわりファンが多数存在

2. 再構築の必要性

既存の家具事業だけでは事業成長が望めない

3. 目指す方向

こだわり家具+システムキッチン等住宅設備機器販売

4. 個人ワーク

HP、インスタグラムの効果的活用、集客アップ策を個人ワークで検討し、代表者発表

■アンケート結果

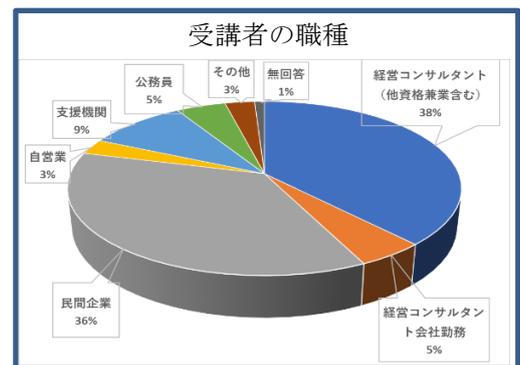
- ・受講者の職種は経営コンサルタントが43%(会社勤務含む)、民間企業が36%、支援機関・公務員が14%
- ・研修内容集計結果は、「大変役に立つ」と「ある程度役に立つ」が、第1講57%、第2講94%、第3講81%と、総じて好評でした。

事業再構築とは事業のリストラクチャリングである

事業再構築とは、事業構造(事業の組み合わせ)を再構築、変えることで、不採算事業を縮小、廃止して、今後成長が見込まれる事業、収益性の高い事業へ経営資源を集中することである。

事業再構築支援とは

事業主様の『夢の実現』を支援すること



診断実務従事に参加して(1)

第一班指導員:鐘井 輝



診断先のウインドディスプレイ

令和4年1月22日～3月20日にかけて大津(滋賀湖南エリア)の実務従事事業を実施しました。診断先の企業は従業員数25名、リアル店舗6店舗を経営(百貨店、ショッピングセンターテナント)されている企業です。副指導員の河原進吾先生も含め、7名での当事業への取り組みでした。

今回は基本経営戦略、財務分析、事業計画、プロモーション戦略、人的資源管理、情報化戦略について提言するための調査分析を行いました。特に当社では高付加価値接客型のビジネス形態を採用され、インスタグラムによるライブ配信での広告宣伝に取り組まれています。

事業活動の特徴を踏まえた上で以下の点などをアドバイスさせていただきました。撮影スタジオ設置等によるミレニアル世代をターゲットにした新規顧客増加策、新規顧客の固定客化(インスタグラムへの誘導等)、製造工場視察、モチベーション向上のため国内外先進専門店視察等による人材の育成、ITツール活用による顧客と店舗の管理などがその内容となっています。



欧米の有名ブランドの品揃えと商品展示

診断実務従事に参加して(2)

第二班指導員:佐々木 武

1.診断企業様の概要

昨年度当班が診断実務した企業様は、湖南省に本社を構える、資本金1億円、従業員数278名、グループ売上高66億円(HP掲載)の、地域を代表する中核企業である甲西陸運株式会社様です。甲西陸運様は、物流(運送・倉庫)から製造・環境事業までを手掛ける多角化企業です。



2.診断実務の概要

指導員の見立て(多角化戦略)と異なり、「物流」を核に顧客の困りごと(課題)を解決するソリューション企業であることが1回目のヒアリングで分かり、5人の優れた診断士が方針を見直し、「物流ソリューション(物流をコアに、物流工程はもとより製造など物流前後の工程までの多様なサービス・ソリューション(顧客価値)をワンストップかつフレキシブルに提供し、顧客の経営課題解決に貢献する)」として、経営戦略(企業ドメイン)や将来ビジョン(ありたい姿)を明確にし、事業戦略からソリューション人材育成に関わる人事理念・人材戦略まで一貫性の高い診断・提言を行うことができました。

	氏名	担当部門
班長	中小企業診断士 三品俊二	第I章 経営戦略
班員	中小企業診断士 富江正実	第II章 事業展開
班員	中小企業診断士 濱中正人	第III章 マーケティング
班員	中小企業診断士 萩 敏夫	第IV章-I 人材育成
班員	中小企業診断士 北村義浩	第IV章-II 人材育成のための制度設計

3.診断実務の成果

三品リーダーの下チームでスクラムを組み、事業承継に向けて一枚の「2030年経営デザインシート」に落とし込みました。企業様からは今後の経営指針として役立てたいと評価を得ました。

■リーダーのコメント 中小企業診断士 三品俊二

大規模な企業様で重圧を感じましたが、経験豊富な班員の皆様・指導員の先生に支えられ、将来に向けた課題を抽出し提言することができました。自身としても非常に糧となる経験となりました。

■支援企業様の声 甲西陸運株式会社 代表取締役社長 甲斐切稔様
複数回に渡るヒアリングと多角的な分析により、社内の問題点を改めて確認することが出来ました。ありがとうございました。



診断実務従事に参加して(3)

第三班指導員:西村 剛史

昨年度は湖南省の自動車整備、販売業の診断を指導員として担当しました。今回は過去に何度も参加されている診断士もおられれば、初めて参加される診断士もおられました。

なかにはチームとして1つの方向性を共有し、それに沿って診断報告書を作成することに戸惑いがあったかもしれませんが、参加者の皆様、大変熱心に取り組まれ、最終的には良い報告書を作成いただいたのではないかと思いますし、診断企業さまの満足度も高かったのではないかと思います。

以下、当班メンバーの声です。

橋詰 雅人(リーダー 担当:経営戦略)

リーダーとしては、コロナ禍と先方様がお忙しい事もあり、ヒアリングも充分できませんでしたが、企業様の状況をほぼ正確に把握し報告書にまとめられたと思います。



原 哲郎(担当:財務)

コロナ禍ということもありヒアリングは従来のようにしっかり時間をかけてとゆうわけには行きませんでした。しかし限られた中でも各担当が精一杯努力しい報告書ができたと思います。



山中 あす香(担当:マーケティング)

普段あまり接点が無い業界で学ばせていただきました。理想の実現に向けて、事前調査の資料よりも何歩も前へ進んでいらっしやる印象でした。新事業、事業承継ともにスムーズに成る一助となれていれば良いなと思います。



栗山 誠司(担当;労務管理)

最初は、チーム内で方向性が定まらずに苦心しましたが、メンバー各々得意分野が異なる分、徐々にチームとしてのシナジーが発揮され、最終的には専務様にも喜んで頂ける報告書が出来上がり、診断士冥利に尽きる経験ができました。

「ウェルネスツーリズム」体験ツアー開催

「ホースセラピー・乗馬・騎乗ヨガと旧和中散本舗春の特別公開」

しが観光経営研究会 代表 岩崎 弘之

しが観光経営研究会では、5月28日（土）に「ウェルネスツーリズム」を体験するイベントを企画しました。「ウェルネスツーリズムは、自然散策、ヨガ、瞑想、フィットネス、スパ、食、レクリエーション、交流などを通して、地域の資源に触れ、心と身体をリフレッシュし、明日への活力を得る旅」と定義され、コロナ禍でインバウンド需要が急激に落ち込んでいる観光業界にとって、日本旅行の新しいニーズを喚起する可能性が高く最も注目されているニューツーリズムです。

今回、滋賀県内でこのツーリズムに積極的に取り組まれている栗東市観光協会様と当研究会がコラボして体験ツアーを実施し、新入会員3名を含む総勢10名の方に参加頂きました。

ツアーは、JR草津線手原駅からスタートし、旧中山道を歩き、1つ目の目的地「旧和中散本舗」（きゅうわちゅうさんほんぽ）に到着しました。ここは、江戸時代、徳川家康の腹痛を治した薬として有名な「和中散」を売る「ぜさいや」の本舗として栄えた大角弥右衛門家の邸宅のことで、豪商の昔の姿をそのまま今に留めています。薬を売るだけでなく、草津宿と石部宿の「間の宿」として公家・大名などの休憩所も務めたといえます。「大角家（おおすすめ）住宅」が国の重要文化財、庭園が国の名勝にそれぞれ指定されており、春・秋の特別公開期間以外は、非公開です。今回は特別に大角家25代目当主直々に案内して頂き、じっくりと歴史を味わうことができました。



大角家25代目当主を囲む研究会メンバー

昼食は、近江の地で江戸時代に創業された料亭魚新楼で、滋賀の食材をふんだんに盛り込んだ「かご盛り」を頂きました。

午後は、ツアーのハイライトであるTCCセラピーパークを訪れました。近江富士を遠望するこの場所は、豊かな緑に囲まれた閑静な場所にあり、人も馬も癒す福祉活動を行うに適した場所です。JRA栗東トレーニングセンターからほど近い立地を活かし、行き場のない引退した競走馬の居場所をつくるための支援と、ホースセラピーへの活用を通じて、「馬のまち栗東」のまちづくりに貢献しています。

訪れた日は、5月とは思えない炎天下だったため、まず屋内でヨガ体験をしました。



その後、乗馬をしながら腕や身体をゆっくりと伸ばす騎乗ヨガ体験と、引退競走馬やポニーに人参をあげるなどの貴重なふれあいで、心身共に癒されるホースセラピーを体験しました。

最後に栗東歴史民俗博物館で旧和中散本舗の歴史的襖絵等の復習をしたのち地元で人気の「茶ノ木カフェ」で懇親を深めツアーを締めくくりました。

初夏の心地よい1日、参加者は、日頃の疲れを癒し、リフレッシュされたようでした。後日参加者に感想をお伺いしたところ、馬に跨っていると、「お馬さん頑張れよ！俺もがんばるから」という一体感を得ることができた、「この時学んだ呼吸法は今でも毎日実践している」、など前向きな感想をいただき、ウェルネスツーリズムの効果を実感しました。

「ウェルネスツーリズム」これからも益々注目です!!



競走馬に囲まれての記念撮影



委員会報告・計画

組織体制委員会

西村 剛史

昨年度は、会員増強はもちろんのこと、e-learning によるコンプライアンス研修の受講の徹底することにより、コンプライアンス強化に向けて以下のことに取り組みました。

今年度も新入会員を中心に e-learning によるコンプライアンス研修の受講を徹底していきます。

また、働きやすく、集まりやすい環境の整備のために、7月に事務所の書類整理を実施しました。

当協会も会員数が100名を超えましたが、さらに新規にご入会いただく会員が増加を続けています。今後、それに対応する組織体制の見直しも検討していきたいと考えています。

厚生委員会

鐘井輝（委員長）西村剛史、稲田忠夫、山本善通、仲西貞之、河原進吾、稲田忠夫
岩崎弘之、下村裕彦、森部修、島渕裕一、山本邦博、古澤 智

2022 年上期ゴルフ交流実績

3月28日（月）メイプルヒルズゴルフ倶楽部	参加者 9名	優勝者稲田忠夫氏
4月20日（水）ベアーズバウジャパン倶楽部	参加者 9名	優勝者古澤 智氏
5月22日（日）双鈴ゴルフ倶楽部	参加者 11名	優勝者田畑一佳氏
6月9日（木）多羅尾カントリー倶楽部	参加者 8名	優勝者岩崎弘之氏



ベアーズバウジャパンゴルフ倶楽部にて



多羅尾カントリー倶楽部にて

なお、5月22日は第四回滋賀県中小企業診断士協会会長杯として実施しました。



会長杯 双鈴ゴルフ倶楽部土山コースにて

7月は18日（祭） 甲賀カントリー倶楽部、

8月23日（火） メイプルヒルズゴルフ倶楽部

9月19日（月・祝） 甲賀カントリー倶楽部

にて実施します。オープンな交流会ですので、皆様のご参加をお待ちしております。



<u>しが観光経営研究会</u>			
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 定例会（担当者より研究事例の発表並びにダイアログの実施、部外専門家を交えた勉強会の実施） ◆ 現地視察（旅産業において画期的な取り組みを行う事業者を中心に、県内・県外各地にて視察研修を実施） ◆ 滋賀県内観光業の経営支援 		
開催日	原則第4木曜日 19:00～	開催場所	コラボ滋賀 21 内 （視察は各地にて）
代表者	岩崎 弘之	連絡先	090-1134-5745 iwasaki-h@vitaconsul.com

中小企業診断士目線での観光マネジメントを学ぶ

政府の「観光立国」の旗印のもとで、我々滋賀県を中心に活動する中小企業診断士が、診断士の強みである、「幅広い視野」と「他府県にまたがる豊富な人脈」「様々な職歴」を活かし、戦略策定、マーケティング、販路拡大、IT化、観光人材育成、地域ブランド開発等、あらゆる面から滋賀県の観光発展をサポートし、全国においても注目される地方創生事例を産み出すことを目的に、令和元年より立ち上げた研究会です。

主な活動成果として、中小企業診断協会 令和2年度「調査・研究事業」に採択頂き、『観光関連事業の持続的成長に向けた新しい手法の調査・研究』

～コロナ禍における「観光版 BCM（事業継続経営）」の策定～報告書を完成させました。

観光業界の持続的発展に貢献する！

滋賀の観光業界の持続的発展に貢献するためには「しっかり地元のコトを知ることである」という信条の下、地元の観光地域を巡ることを重視しています。そのため、年3～4回のエクスカッションを実施し、五感を磨き、経営支援の智慧を蓄積しています（エクスカの一環にて登山も交え、心身も鍛えています！）。

メンバーの約半数が企業内診断士である緩やかな研究会です。地元観光業界を支援したいと思う方、エクスカ（旅行や山登り）が好きな方 Let's join us！



<写真：昨年秋のエクスカ「醒井楼の鱒料理と雲仙山登山」の様子>

事業再生支援研究部会

リーダー:田中 清行 記:山元 岳司

1.研究部会の目的と活動内容

研究部会の目的は、経営資源が乏しいこと等で業績が思わしくなく苦勞されている中小零細企業の事業再生や経営改善を支援するスキルを身に付けることです。

活動内容は、当協会が滋賀県信用保証協会から受託している「経営安定化支援事業」ならびに「創業支援強化事業」の実践および事例共有と意見交換等による相互研鑽です。

具体的には、本研究会参加の診断士が、企業の経営診断等を行います。その際に、実務経験の浅い診断士は副担当として入り、経営診断等の基礎となる実践経験を積みます。その後、主担当として実践現場でさらに経営診断等の能力を磨きます。

実践する経営診断等は以下のとおりです。

- ・経営診断(経営改善コース、事業承継コース、生産性向上コース、チャレンジコース、創業支援コース、フォローアップコース、創業フォローアップコース、IT入門コース)
- ・経営改善計画策定
- ・生産性向上計画策定

事例共有と意見交換等は、守秘義務順守の下、上述の経営診断等の事例を担当した診断士が毎月3件発表し、これを題材に活発に意見交換して相互研鑽しています。書物や個人活動からだけでは得られにくい、実践的な経営診断スキルや経営支援の知見・能力を磨き上げることができます。

新型コロナウイルスの感染拡大で外出自粛が要請され、飲食業、宿泊業のみならず卸・小売業、運輸業、製造業等も売上の大幅低下を余儀なくされて窮境に陥り、国の金融施策等で急場を凌いでいました。しかし、いまだ新型コロナの影響が残る中で、増加した借入金の返済を開始している企業もあり、これらの対応のために経営改善計画の策定要請が増加すると考えられます。本研究部会に参加することで、その経営改善計画策定支援を学ぶ絶好の機会を得られます。

2.令和4年(1月～6月)の活動状況

毎月1回(第3水曜日夜)、「コラボしが 21」3階会議室で研究部会を行っています。新進気鋭の若手会員からベテラン会員まで毎回20名余の研究部会メンバーが、各自の診断手法を披露し、活発な議論を行っています。



	本年前半期の経営診断/経営改善計画策定発表者と発表事例
1月	槌田昌子「建材卸業」、松島明男「貸家清掃業」、松原秀樹「酒販店」
2月	森部修「建設業」、佐々木武「飲食店」、山元岳司「教育・学習支援業」
3月	北村信之「建設業」、杉律子「美容業」、川島康史「鉄工業」
4月	松山茂樹「電気機械器具製造業」、三木正博「警備業」、松島明男「木工業」
5月	岩崎弘之「飲食業」、磯野研「茶卸・小売業」、中川学「呉服小売業」
6月	槌田昌子「寝具・インテリア小売業」、森川茂樹「コンビニエンスストア」、佐々木武「建築業」

飲食業 口福繁盛研究会

活動概要	① 定例会(担当者や外部専門家による研究テーマや事例等発表、情報交換、懇親会) ② 滋賀県飲食業・食品製造業の支援 ③ 飲食業専用支援ツールの作成、ノウハウ・事例共有 ④ 繁盛店/苦戦店の共同視察、支援ツールの試用及び改善		
開催日	原則第4水曜日 18:30	開催場所	コラボ滋賀 21(視察は各地)
代表者	奥田 謙一	連絡先	09037285775 Kenichi.024@gmail.com

コロナの影響も落ち着いてきましたので、当研究会では積極的なリアル開催、視察、懇親会を行い、コロナで業績が低迷した飲食業・食品製造業の支援を行っていきたいと考えています。

今後の予定

- 8月24日(水) 18:30～ 発表者 山本善通先生:飲食・食品製造業のインボイス
- 9月28日(水) 18:30～ 発表者 樋田昌子先生:飲食業のマーケティング
- 10月26日(水) 18:30～ 発表者 望月啓司先生:飲食業のLINE活用
- 11月30日(水) 18:30～ 視察・懇親会(しが観光経営研究会合同)

ものづくり研究部会

磯野 研

活動目的	ものづくりならではの価値づくりから、具体的な支援手法の実際を学ぶことが目的です。滋賀県は全国的にみても製造業が集積しており、製造業のお客様とお話しをすることが多くあります。ものづくり研究会で、活きた事例を学びませんか？		
開催日	原則 第3金曜日 18:30～	開催場所	原則 Zoom 開催(月1) + Microsoft Teams でのチャット(随時)
代表者	磯野 研	連絡先	077-515-2918 ken@isono-revitalizing-office.jp

【こんなことをしています】

Zoomでの開催がすっかり定着し、出席が楽になったと評判です。普段は画像のようにチャットで情報交換をしています。半年に1回程度は懇親会も実施し、リアルなコミュニケーションも楽しく実施しています。新入メンバーの自己紹介も気軽に行える雰囲気を目指しており、多くの方にご自身の方向性を知って頂くことが可能です。

最近では補助金を始め、様々なコンサルティングの悩み事を議論する時間も設けています。委託事業を含め、研究会で実施できるプロジェクトも検討中です。自分自身で伝統工芸品の製造・越境EC販売事業を始めたメンバーもおり、将来は事業者になりたいという方もウェルカムです。

フラットで自由な雰囲気を心がけておりますので、試しに出席してみたいな、という方は磯野宛にご連絡ください。



地域経営研究会 活動報告

リーダー:佐々木 武

1.研究会の目的と活動概況

当研究会は、滋賀の“地域経営支援プラットフォーム”を目指し、地域経済や特性を分析し、地域資源を活用した持続可能な経済・社会・環境(SDGs)創出に向けた地域と企業経営の支援の実践研究を行なっています。



【神奈川県寒川町とのオンライン情報交流】

2.令和4年の活動状況

RESAS(地域経済分析システム)を活用した「野洲市地域の経済動向調査分析」や神奈川県寒川町との「エコミックガーデニング(地域中小製造業経営発達支援)」の情報交流、「高島市アグリビジネス講座」、滋賀県商工観光労働部との意見交換など昨年度の活動を基に、官民一体で地域課題を解決し、その地域らしい個性豊かなまちづくりや地域社会の創出を目指し、戦略的な地域経営発達計画支援の実践研究を行っています。

第56回 オンライン	2月	アフターコロナに向けた持続的地域経済のあり方 (経営発達支援計画事業への取り組み)	栗田一人会員
第57回 オンライン	3月	今注目されている地域経済循環とは RESAS から見る野洲市の産業構造の現状	佐々木武会員
第58回 オンライン	4月	RESAS(地域経済分析システム)ショートレッスン 高島市アグリビジネス(6次産業化)講座報告	栗田・佐々木会員 栗田・若岡会員
第59回 オンライン	6月	地域経営に関する考察(地域経営学と地域経済循環) 野洲市の地域経済動向調査分析報告(RESAS・景況DI)	北村義浩会員 栗田一人会員
第60回 ハイブリッド	7月	「経営支援に役立つ統計ツールのご紹介」 (jSTAT MAPとV-RESASの活用)	(独)中小機構 松田茂様

アグリビジネス研究会

西谷 弘士

【活動目的】

農業においても法人化、大規模化が進むにつれて、経営計画・分析・改善、新規事業の取組み、雇用・労務等の経営課題や事業承継に対して、中小企業診断士の支援が求められています。

また、6次産業化などの新たな取組みへの支援も求められています。

中小企業診断士の力を活かして、「経営の確立」「儲かる農業」を通じて滋賀の農業の発展を支援します。

【活動内容】

事例紹介等を通じて、農業経営の実態・課題・対応策や6次産業化についてメンバーで知識・認識の共有化や農業環境や農業施策についての紹介を行っています。

また、メンバーの中で、滋賀県事業である「しがの農業経営・就農支援センターアドバイザー」や「滋賀県農山村発イノベーションプランナー」を務めています。

3か月に1度程度、第3火曜日にコラボ21会議室で開催中です。(次回9月20日予定。)



滋賀でコンサルタントの仕事ができる幸せ

井上サーバントコンサルティング 代表 井上 稔



1. 滋賀で活動するきっかけ

大手電機メーカーの新事業部門で約 30 年 R&D と新事業開発を担当してきました。自宅も会社も大阪だったのですが、滋賀県とご縁ができたのは、大手製紙会社から「滋賀県に新しい研究所を作るのでウチに来ない？」と声を掛けて下さったのがきっかけです。その後、滋賀で単身赴任中の 2016 年に診断士資格を取得、当初は自宅が大阪だから協会も大阪に入れば良い、程度の認識だったのですが、理論政策更新研修を滋賀県で受講した際に、和気あいあいとした、まとまりの良い雰囲気魅せられて 2017 年に滋賀県協会に入会しました。2020 年 6 月に定年退職するまでの 3 年間は、プロボノ活動として協会のいろいろな研究会にお邪魔し、教科書では得られない多くの視点を勉強させて頂きました。



その中でも、最も私が成長するきっかけになったのは事業再生研究部会でした。主担当の先生の下で、自ら申し出て最終報告書を全て自分で書かせて頂いたので、自信をつけることができました。(文章の至るところを添削して頂き、きっと指導するより先生自ら書いた方が早いのだろうなあ、と申し訳なく思ったものでした)。また、プロコン・ステージアップ塾で先輩方の経験を疑似体験できたことも、独立後の活動に迷うことが無かった要因だと思います。

2. 独立後の活動状況と今後の抱負

独立は 2020 年 6 月と、コロナ禍真っ只中でしたが、独立前の準備が功を奏しスムーズに立ち上げることができました。滋賀県を中心に、京都、大阪等の商工会連合会や経営相談室で中小企業の支援に取り組むなど、多くの事例を勉強することができました。さらには、商工会議所向けの景況調査記事執筆では文章能力が上がり、それが補助金支援の事業計画書の作成で役に立っています。また時には、社長が時間的に集まらない商店会経営者集団の研修用に、さながらユーチューバーのように「社員が辞めない組織作り」を視聴者限定でネット配信したことなど、多方面の経験が今の私を支えています。

中小企業の役に立ちたいとの思いは、コロナ禍での最初の緊急事態宣言時に滋賀県協会が企画したコロナ対策無料相談会のボランティア活動に携われたことが大きく影響しています。今でも、あのときに喜んでくれた事業主の「ありがとう」の言葉と、初めてひとりの中小企業診断士として感謝された感動が私の原動力になっています。

私の屋号にもなっている「サーバント・リーダーシップ」は、リーダーは部下に奉仕して共に成長することを目指したリーダーシップ論です。前職で自ら新しい組織を作ってきた経験から、組織のトップに立つ者は如何にしてメンバーの力を引き出させるか、その苦勞した経験を広く伝えて今後の中小企業の発展に貢献していきたいと決意を新たにしています。

千織技術経営コンサルティング

代表:谷口 賢(たにぐち けん)

得意分野:原価企画・原価管理、既存製品の生産ライン改善、生産ラインの自動化、新商品の生産ライン企画、図面や部品表等ドキュメント管理の仕組み構築

得意な業種:製造業

資格:技術士(機械部門)、MBA、中小企業診断士
令和3年10月から滋賀の協会に入会させていただいております。



<プロフィール>

草津市在住。

村田製作所の生産技術部門で、32年間、生産技術に関する以下のような仕事に従事してきました。

「生産設備の設計や、合理化企画、ライン立ち上げ」、「新商品の生産ライン企画」、「生産設備設計の標準化(規定類整備、教育など)」、「設備設計部門で使うPDMの開発、立ち上げ、運用」、「新製品のライン構想、原価企画(IE)」

55歳になったこと、中小企業診断士の資格が取れたこと、子どもの扶養の見込みがついたことなどから、早期退職を決意し、独立しました。

村田製作所退職後は、京都の支援機関の(公財)京都産業21で、2年間コーディネータとして中小企業支援の経験を積ませていただきました。

また、村田製作所在職中に、立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科と、兵庫県立大学大学院経営研究科の二つの大学院を社会人学生として修了しております。

千織という屋号は、元々京都の西陣で、祖父と父が営んでいた織屋の屋号を引き継いでいます。30年以上前に廃業していますが、独立するにあたって、昔の名前を使うことにさせていただきました。小規模な家族経営の中小企業さんの実態は、幼少のころから刷り込まれるように見ておりますので、そのあたりも私の強みかと考えております。

<今後の展開>

プロフィールの通り、生産技術畑一筋で現場経験もありますので、幅広くというよりは、製造業にフォーカスを絞って、自分の強みである、現場改善支援や経営改善支援の仕事で、事業者様に貢献していきたいと考えております。



新入会員紹介

事業承継と私(自己紹介を兼ねて)

氏名:岡本 香(おかもと かおり)

令和4年4月登録 大津市にて独立開業

私が中小企業診断士を目指したきっかけは、家業の事業承継後、株式譲渡に至るまで自身で関わったことです。大学卒業後、旅行会社で好きな仕事に没頭していた私にとって事業を引継ぐという責任を担うことは、人生観が大きく変わる出来事でした。

事業承継を当事者として経験したことから、事業承継を中心に同じような境遇の方々に寄り添い、事業者様のお役に立てるよう精進して参ります。

皆様、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。



氏名:小西正伸

この度、滋賀県中小企業診断士協会に入会させていただきました小西正伸 54 歳です。京都府京田辺市在住。連絡先:080-8105-9542。初年度登録は平成16年(2006年)です。専門はマーケティングで、特に看板等を活用した実店舗の集客が得意テーマです。家族は嫁と小4の娘1名+インコ1羽。趣味は4年前にはじめたトランペット。研究会等で会員の皆様とお会いするのを楽しみにしています。



氏名:堀江 明

住所:彦根市西今町

連絡先:info@ritaworks.com

法人 HP: <https://www.ritaworks.com/>

10年以上の行政経験を経て、令和4年2月に一般社団法人リタワークスを設立しました。

現在は、行政職員、一般社団法人理事長、中小企業診断士の「三足のわらじ」で活動しています。

専門分野は、「創業支援」「新規事業開発」「人材確保支援」です。

自ら一般社団法人を設立した経験や労働雇用行政での施策構築経験を活かし、課題の深掘りや具体的な事業化をサポートします。

皆様、よろしく願いいたします。



森本 滋(もりもと しげる)

E-mail albelo3793@gmail.com

前職は電機メーカーで研究・開発や商品・サービス企画に従事しておりました。

今後は診断士として、会社の知的資産(持ち味)を最大限に活かしながら社会の変化に対応できるよう業種を問わず支援していくことで、地域社会からこの会社があってよかった、と思われる企業を増やし、次の世代に希望のある未来を残せるよう少しでも貢献していきたいと思っています。

皆様方のご指導とご鞭撻をくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



氏名:竹内 芳裕(タケウチ ヨシヒロ)

住所:滋賀県大津市

連絡先:TEL090-8123-0272,E-mail:yt580601@zeus.eonet.ne.jp

事業内容:(企業内診断士)

専門分野:作業・工程改善(主として製造業), ISO9001/14001 運用, BCP 関連, SWOT 分析・PDCA 運用

6月に入会しました竹内です。製造業における企業内診断士として、工程改善, 品質管理, BCP対応等の業務に従事し、経験を深めてきました。他企業への経営指導等については、限られた件数の経験しか持ち合わせていませんが、地域に根ざした企業活動を展開されている中小企業の方々の発展に、微力ながらも貢献できればと考えています。

また、今、ウォーキングにはまり、湖岸沿い他で汗を流していますので、皆さんには既にお会いしているのかもしれませんが、よろしくお願い致します。



氏名 : 望月 啓司 (もちづき けいじ)

住所 : 滋賀県大津市 連絡先 : 090-1473-9832

資格 : 国際認証MBA、1級販売士登録講師、宅建士、
管理業務主任者、LINEコンサルタント etc

【 略 歴 】

社内金融システム(業務整理⇒課題抽出⇒業務プロセス)改善業務を約 20 年携わる。本社管理職(営業企画、マーケティング、情報システム、総務など)の経験を通じ意思決定に磨きをかける。

【 得意分野 】

LINE公式アカウントやLINEの拡張機能を活用した通販システム導入支援、集客改善、業務改善、LINEマーケティングによる販路開拓を得意とします。

皆々様方からのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。





中小企業支援機関、各種団体、企業、行政の皆様へ

当協会会員は、経営革新セミナー、創業塾などのセミナー、講演会、研究調査等の企画、実施まで責任を持って実行します。また、商店街などの中小の集積から個別企業まで、多くの業種の経営計画の支援や実務支援等を現場で行っています。企業内研修、団体研修、専門家の派遣等でも多くの実績があります。

当協会会員には、中小企業診断士だけでなく、弁護士、税理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、ISO9000,14000 等審査員、情報システム、不動産鑑定士、など他の資格者も擁する人材の宝庫でもあります。

専門家とのマッチング、費用のご相談など、無料窓口相談で行っていますので、業界に関わらず広く経営に関することなら、お気軽にご相談ください。



無料経営相談

当協会では、平日の午後1時より午後5時まで、予約制で、中小企業診断士による無料経営相談を実施しています。経営者を始め、営業担当者や創業を考えている方、各種団体との連携を求めておられる方など、多くの方に安心して利用いただいています。

特定の分野での専門家をお探しの場合は、電話やメールでも、ご相談可能です。



会員の皆様へ

当協会のホームページでは、皆さまの専門領域や経歴等のプロフィールを「会員情報」として発信しております。内容をご確認いただき、最新情報の掲載にご協力をお願いいたします。原稿をお送りいただければ、ホームページ掲載の情報を更新いたします。

また、未掲載の方で、掲載希望の場合はお申し出ください。

令和4年度の1年間で、**更新登録申請時期を迎える正会員**の方へ。

該当される方には、要件充足の見込み等について、事務局より順次確認させていただきますが、ご不明な点等ございましたら、お早目にお問い合わせください。

事務局 小山敦美

■発行者：一般社団法人 滋賀県中小企業診断士協会

■住所：〒520-0806

滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21 4階

TEL: 077-511-1370 FAX: 077-511-1371

email: jsmeca25@jade.dti.ne.jp

HP: <http://shiga-smeca.net>

■交通：○京阪電車・石場駅より徒歩3分 ○大津駅からバス「びわ湖ホール」又は「商工会議所前」下車徒歩2分

